

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100912
事業所名	グループホームでんばあく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に参加し、町内行事の誘いをもらい、利用者も参加している。カラオケや民謡などボランティアの訪問がある。中学校の職場体験を受け入れ、認知症の人のことを学生に知ってもらう機会としている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	併設の小規模多機能施設と合同で運営推進会議を年に6回行っており、事業所の情報や行事、ヒヤリハット事例の報告をし、質疑応答し助言をもらったりしている。入居基準となる認知症の中の若年性アルツハイマーについて問われ、事業所の対応や方針について説明している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議に市の担当者が参加している。会議のときに利用者家族から介護保険料などについて直接答えてもらっている。市や包括支援センター主催の研修に職員が参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	年に一度家族会の会合がある。協力医の選び方について、金銭的なことを考えての意見がだされ、変更した。二ヶ月ごとにホーム便りを発行しているが、紙ベースではなくインターネット配信となっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎		